

今とあしたが見えてくる— 冷食・チルド・惣菜業界の専門誌

月刊 低温流通 6 2010

テクニカル・プレゼンコーナー

オフィス エフエイ・コム 手軽に使えるレンタルWMS

オフィス エフエイ・コムはITによる物流倉庫管理システム（WMS）として、月極めのレンタルで提供するサービス「WAREHOUSE」（ウェアハウス）を3PL業者や問屋に提案している。昨年6月にサービスを開始した。

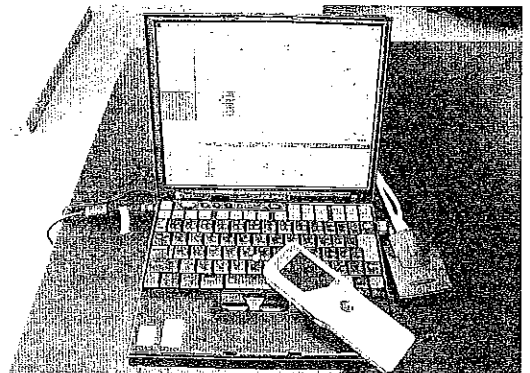
従来、WMSは大規模な倉庫や物流センターがリースなどで導入するのが一般的で、ユーザーは高額のコストがかかっていた。そのため「中小事業者は受注する物流案件が長くて2年、短い場合は半年や1年。WMSは導入費用が高いため投資に踏み切れないという企業が多い」（中村隆博物流プロデューサー）。

料金以上のコスト削減金額

同サービスはレンタルであるため、

①いつでも解約可能②契約料など初回費用不要③レンタル料に比べコストダウン金額の方が大きく、導入初年度から黒字化可能——という優位性を持つ。また、レンタルの際は同社が業務の効率化策を診断・示唆する。リースのように固定資産の対象ではないため減価償却がないことも利点。

貸し出す機器の最小セットはパソコン（PC）とサーバープログラム、ハンディ端末。レンタル料はサーバープログラム8万円、リモートメンテナンス1万円、ハンディ端末3万3000円（×必要台数）で、契約料などはかからず上記金額の合計額のみ。しかも最初の月は無料だ。



貸し出される機器一式

「ハンディは従業員3人で1台、10人で3台」が目安で、月ごとの変更にも応じている。ほかに物流手法のトレンドが変わったり、PCで新OSが主流になったりした際も無料でアップグレードする。オプションでポータブルプリンター、プリント用紙なども用意できるほか、RFIDにも対応できる。

▽問い合わせ先：物流システム開発部＝電話0285-41-1140